

第7回：第2課 指示代名詞（物、人）の導入（2時限：90分）

学習目標：挨拶、数字（0～99）、1課の定着練習を続け、且つ2課指示代名詞（物、人）を導入する。

準備教材：あいさつ、第1、2課絵カード、1～10班。五十音カード。

教科書：『みんなの日本語1』及び『みんなの日本語1 学習補導用書』

学習者数：30人以下が望ましい。

-----  
T：OK？（疑問）[手でOKを作りながら]

S：OK！（肯定）

#### P.5

1) 毎日の挨拶と会話表現

例、T：絵カードを指差す

S：おはようございます

S：絵カードを指差す

S：こんにちは

2) 数字（0～99）

例、S1：1

S2：2

S3：3...

T：私は31歳です。おいくつですか。

S1：25歳です。

S1：おいくつですか。

S2：22歳です。

チェーンドリルをする

3) 1課の絵カード

T：絵カードを指差す

S：学校

S、T：学校

S : 先生

S、T : 先生

T : 内田先生は中国人ですか。

S : いいえ、中国人じゃありません。日本人です。

[以下同様に]

会社、社員 山田一郎さんは、日本人ですか。 いいえ、そうじゃありません。

銀行、銀行員 山田友子さんは、銀行員ですか。 はい、そうです。

病院、医者 王学さんは、韓国人ですか。 いいえ、そうじゃありません。

大学、学生 イーさんは、学生ですか。 いいえ、そうじゃありません。

エンジニア シュミットさんは、イギリス人ですか。 いいえ、そうじゃありません。

#### 4) 2 課の単語カード

	这	那	
东西	これ	それ	あれ
东西、人	この N	その N	あの N

例、T : これはなんですか。

S : それは鉛筆です。

T : これは何ですか。

S : それはボールペンです。

#### P.16

5) 練習 A 1 練習 B 1

疑問詞 : 誰、どなた、何、いくつ、おいくつ、どこ、(どちら)

T : ここはどこですか。

S : ここは、教室 / 会社 / 5 階 / 北京 / 中国 / アジア / 地球です。

6) 練習 A 1 練習 B 1、2、3

7) 練習 A 2 練習 B 4

**A ですか、B ですか : A 还是 B**

8) 練習 A 3 練習 B 5

**内容の「の」:** N1 の N2 は N2 が省略できない。

9) 練習 A 4 練習 B 6

10) 練習 A 5 練習 B 7

11) 練習 A 6 練習 B 8

**所属の「の」:** N1のN2はN2が省略できる。

文型、例文、会話、練習Cはカリキュラムによって組み入れるかどうか判断する。